

立山町立谷口公民館

(平成21年1月31日現在)

◆事業の目的

「人とのふれあい」と「心の豊かな子を育む」ことに重点を置き、地域の子どもたちの自然体験を通じて、地域の活力向上につなげていく。

◆事業の流れ

実施日	活動名	場所	参加人数
6月7日(土)	親子ふれあい畜産体験	地域内(城前牧場)	6名
6月28日(土) ~29日(日)	親子ふれあい自然体験お泊り会	立山山麓・国立青少年 自然の家	33名
9月23日(火)	親子ふれあい農作業体験(稲刈り)	地域内(稲刈り)	17名
10月19日(日)	三世代交流・地域自然散策	地域内(岩室の滝・大観峰)	27名
12月27日(土) ~28日(日)	親子ふれあい農作業体験 (昔の道具「草履作り」)	谷口公民館	24名

◆事業の様子

☆「親子ふれあい畜産体験」

地元の畜産農家の方と一緒に立山町城前地内にある城前牧場へ行きました。そこで、牛舎から連れてきた牛を牧場に放す入牧作業と、配合飼料を牛に食べさせる作業を手伝いました。また、牛はワラビを食べると中毒をおこしてしまうことを教えてもらい、牧場内に自生するワラビの除草を行いました。間近に牛を見て触れることで動物のあたたかさを感じるとともに、人里から離れた自然を体感することができました。普段は入山できない牧場での貴重な体験となりました。



☆「親子ふれあい自然体験お泊り会」

参加者の親子と地域スタッフが協力し合い、国立青少年自然の家の周辺で2日間を通じて「沢歩き」や「トントンの森の自然散策」、「夜空の天体観測」、「バードウォッチング」などの活動のほか、テント設営や野外炊飯にも挑戦しました。仲間との楽しい自然体験の中で「協調性」を身につけ、「感受性」を高めるきっかけづくりになったと思います。帰宅時の子どもたちの顔がとても輝いていました。



☆「親子ふれあい農作業体験(稲刈り)」

親子5組が参加して地元農家の黒米の田んぼで稲刈り作業を体験しました。農家の方から鎌の使い方を教えてもらって、稲の手刈りとはさ掛けを手伝いました。おや



つには黒米のおはぎとおにぎりをみんなで美味しくいただきました。参加した親子は貴重な体験ができたと同時に、改めて食物の大切さと感謝の気持ちを抱く良い機会となりました。

☆「三世代交流・地域自然散策」

幼い子から高齢者までが参加し、四世代交流になりました。みんな一緒に「岩室の滝」まで自然林の中をウォーキングし、世代を問わず地域の自然を満喫しました。その後、みんなで協力し合い野外バーベキューを行いました。地域にある素晴らしい自然に感動するとともに、子どもたちと地域住民がふれあうことで地域の活性化に繋がるとても良い機会となりました。



☆「親子ふれあい農作業体験（昔の道具「草履作り」）」

収穫した藁を使って作ることができず、残念ながら「布草履」になってしまいましたが、地域のおばあちゃんたちに編み方を教わりながら、みんな夢中になって作りました。また、地域の子どもたちと大人が協力して、杵と臼を使って楽しく「餅つき会」を行いました。草履作りでは「集中力」「持続力」を育むことができ、餅つきでは「協調性」を学ぶことができました。また、日ごろ関わる機会の少ない年配の方と子どもたちがふれあうことができ、内容の濃い素敵な時間になりました。



◆事業の成果と課題

谷口地区は自然に恵まれている。しかし、「近くだからいつでも行ける。」という思いから、せっかくの素晴らしい自然（場所）を目の前にしながらも、なかなか行く（体験する）機会がないのが現実である。参加者からは「ぜひこの機会に参加して体験してみたい。」「初めてだけど楽しかった。」「家族で行くのも楽しいけど、みんなで行くと楽しさが倍増した。」「またやってみたいです。」「貴重な体験をさせていただいて有難うございました。」などの嬉しい声が寄せられた。

今回の自然体験事業はいろいろな方々のご協力があったからこそ喜びの声も聞けたのであり、実りある事業になったのだと思う。そして、改めて地域の皆さんのありがたさを実感した。

親子・地域の方々が自然の中で集い、交流するこの事業では、学校での「集団生活」や家庭での「日常生活」とは違った普段では得られないものがあつたのではないかと思う。

今回の自然体験事業で培った、「子どもの豊かな心」「人と人との繋がり」「地域活性化」の重要性を、いろんな観点から見つめ、今後の公民館活動にも活かしていきたい。